



「なくそう!世界の児童労働」 キャンペーンのご案内

6月12日は国際労働機関(ILO)が定めた「児童労働反対世界デー」

今年5月4日にILOが発表した最新のレポートによると、世界の子どもの7人に1人が有害で危険な児童労働に従事しています。

世界の児童労働の問題解決に日本から貢献することを目指す学生や教員などの個人、NGO、労働組合などが構成する、児童労働ネットワーク(略称 CL-Net: 代表 堀内光子/前 ILO 駐日事務所代表)では、5月15日から6月30日まで、「なくそう!世界の児童労働」キャンペーンを行います。

期間中は、東京、横浜、埼玉、大阪など各地で、セミナーや講演会、映画上映会やウォーク、チャリティフットサル大会など、さまざまなイベントを実施します。世界デーを目前にした、6/8~11には、アムネスティ日本の招待により、インドから児童労働活動家カイラシュ・サティアルティ氏と元児童労働者のラギニさん(11歳)が来日し、現地の生の声を届けます。

<メインイベント>

【1】映画上映会とインドの活動家、元児童労働者とのトーク

映 画: 「僕たちも学びたい~貧困と闘う子ども労働者たち(原題: Stolen Childhoods)」

日 時: 2006年6月11日(日) 12時35分~15時

会 場: UNハウス3階 ウ・タント国際会議場(東京都渋谷区神宮前5-53-70)

参加費: 無料

主 催: ILO 駐日事務所、NGO-労組国際協働フォーラム、児童労働ネットワーク

【2】児童労働反対世界デー・ウォーク~インドの活動家、元児童労働者とともに歩きます!

日 時: 2006年6月11日(日) 15時30分~17時30分

場 所: 集合・子どもの城(渋谷区神宮前5-53-1)、解散・宮下公園(渋谷区神宮前6-20-10)

参加費: 無料

主 催: 児童労働ネットワーク

キャンペーンの詳細、その他のイベント情報: <http://www.acejapan.org/cl-net/>

本キャンペーンに関するお問い合わせは下記まで

「なくそう!世界の児童労働」キャンペーン事務局 担当: 白木(しろき)

〒110 0015 東京都台東区東上野1-20-6 丸幸ビル3F(特活)ACE内 児童労働ネットワーク事務局

電話/FAX: 03-3835-7555 Eメール: cl-net@acejapan.org URL: <http://www.acejapan.org/cl-net/>

カイラシュ氏、ラギニさん来日スケジュールに関するお問い合わせ

(社)アムネスティ・インターナショナル日本 担当: 谷口

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-2 共同ビル(新錦町)4F

TEL: 03-3518-6777 FAX: 03-3518-6778 E-mail: rtaniguchi@amnesty.or.jp

児童労働とは？

危険で有害で、教育の機会を妨げたり、健康的な成長に害を与える労働をさします。劣悪な環境での長時間労働、性産業への従事、兵士としての戦闘参加などを含みます。今年5月4日に発表された最新のILOの報告書*によると、2004年時点の世界の児童労働数は2億1800万人、世界の子ども7人に1人にも上ります。その約64%がアジア・太平洋地域に集中しています。

*「児童労働のない世界：手の届く目標（原題：The End of Child Labour: Within Reach）」

日本語要約 <http://www.ilo.org/public/japanese/region/asro/tokyo/downloads/pr06-grcle.pdf>

キャンペーンの目的は？

児童労働のない世界を目指して、社会に対し幅広く児童労働問題について知らせると共に、問題の解決のために行動する人を増やすことを目的としています。

児童労働ネットワーク(CL-Net)とは <http://www.acejapan.org/cl-net/>

児童労働の問題解決に日本から貢献することを目指す学生や教員などの個人、NGO、労働組合などが集まるゆるやかなネットワーク。現在、24の団体と個人が会員として参加しています。2ヶ月ごとの定期セミナーの開催などを通じて、児童労働に関する理解促進、情報発信などの活動を行っています。

インドからのゲストプロフィール



カイラシュ氏と救出されたネパールの少女たち

カイラシュ・サティアルティ(児童労働に反対するグローバルマーチ代表)

<http://www.globalmarch.org>

BBA/SACCS(南アジア子ども奴隷解放連盟)代表、ユネスコEFAハイレベルグループメンバー。1998年に働く子どもたちとともに世界8万キロ、107カ国を行進したグローバルマーチを実施。これによりILO182号条約(最悪の形態の児童労働条約)の策定に貢献した。インド国内では、緊急の救出活動により25年間でインドの67,000人以上の子どもたちを児童労働、奴隷状態から解放。2006年度ノーベル平和賞ノミネート候補者。

ラグニ・チョベ 元児童労働者。BBA/SACCSが運営する児童労働経験者のリハビリテーションセンターで教育を受ける。女子グループのリーダーとなり、児童労働撲滅を訴える活動に参加。現在11歳。

映画「僕たちも学びたい～貧困と闘う子ども労働者たち(原題:Stolen Childhoods)」について

レン・モリス監督、2004年。インド、インドネシア、ブラジル、ケニア、アメリカなど8カ国の児童労働の現状と子どもたちや活動家などの声を収録。カイラシュ・サティアルティ氏、2004年度ノーベル平和賞受賞者マータイ氏、アメリカ上院議員トム・ハーキン氏などが登場。 <http://www.stolenchildhoods.org>

昨年の6月12日のウォークの様子(東京・表参道)

